

## 花芸安達流40周年記念展 花手前「もえる秋熊本」

平成28年10月8日、玉名市ホテルしらさぎにて、花芸安達流熊本県支部発足40周年記念展を、250名の御出席を賜り、開催いたしました。

震災後の大変な時期に、多くの皆様方の御参加を戴き、深く感謝申し上げます。

当日のパンフレットでの案内のとおり、ゲストの琴の二宮晶代先生、尺八の藤原道山先生、他来賓の八名の方々から御祝詞を賜り、ありがとうございました。

今回の花手前「もえる秋」は、ステージいっぱい、長さが8m～3mの青竹九本を組み立て、花器を構成、琴、尺八の演奏と共に着物姿の括手六名、黒子一名で、約25分間で組み立てた青竹を器にし、生け花の成就する過程を所作と共に御鑑賞戴く内容となっています。花と括手と音楽それぞれにお客様、四者一体となり、美の熟していく一瞬一瞬の時間を共有する安達流独自の試みで初代安達瞳子先生の発案によるものです。肥後椿を介して熊本の地に深い御縁があられた初代亡後十年目の節目に記念展の開催ができましたこと、一同この上ない喜びでした。今後は震災の復興に花と共に支援の一隅にでも共助できればと一同念じております。

最後に御来賓賜りました「県文化協会副会長 村上輝和様、相談役 小川宏様」「熊本いけばな実行委員会会長 池本翠郊様」「衆議院議員松野頼久様」「前熊本市長 幸山政史様」「山鹿市議会議員 服部香代様」先のゲストの方々には丁寧なお言葉を戴き会員一同厚く御礼申し上げます。

又遠くは秋田県から、日本椿協会から、華道界から、いけばなインターナショナル会員の方々多くの皆様に御高覧頂きありがとうございました。

花芸安達流熊本県支部40周年記念展、盛会裡に終了いたしました事、御報告させていただきます。

支部長 内山ゑみ瞳  
支部教授会員一同  
(文責 内山ゑみ瞳)

花芸安達流熊本県支部  
40周年記念展

# 花手前

もえる秋 熊本

平成28年10月8日(土) 午後1:00開演  
(受付/午後12:00)

於 玉名市・ホテルしらね

主催/花芸安達流熊本県支部

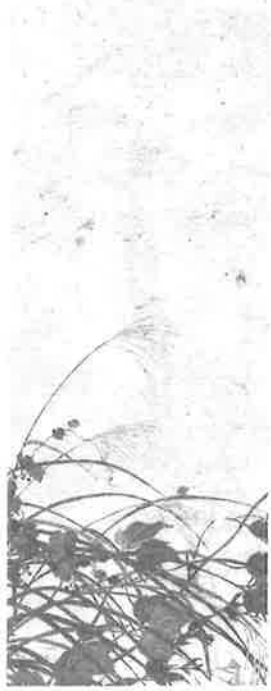
後援/熊本県、熊本県教育委員会、熊本県文化協会、熊本県華道協会、

花芸安達流福岡県支部、熊本日日新聞社、RKK、KKT、KAB

いばらけ



花芸安達流  
二代主宰  
安達 瞳子



この度の震災において被災された熊本の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

本日は、花芸安達流熊本県支部40周年記念展「花手前～もえる秋 熊本」にご来場いただきましてありがとうございます。

熊本県に、始祖の時代から安達の花の輪が広がり、三代に渡り引き継ぐことができました事に、深いご縁を感じております。

熊本県支部は、初代 安達瞳子のもと、昭和51年に支部発足、そして初代他界10年の節目の年に私の代で40周年を迎え、このような催しを開催できますこと嬉しい限りです。

三代続いてきたご縁を大切に、今後共支部の皆様と共に花芸の道を歩んで参る所存です。

《プロフィール》

平成14年 東京農業大学(地域環境科学部造園学科)卒業。在学中より次期主宰・会長としての修業と活動に従事。

平成17年 花芸安達流副主宰、社団法人花芸安達会常務理事に就任。

平成18年 3月10日 初代 安達瞳子没。花芸安達流二代主宰(瞳子襲名)、一般社団法人(現)花芸安達会二代会長に就任。

平成18年 恵泉女学園大学 非常勤講師。

平成24年 東京大学「技術とコンテンツ」講義。

平成25年 安曇野高橋節郎記念美術館にて「開館10周年 安曇野に集う匠展～木・花・土の芸～花芸安達流二代主宰 安達瞳子と長野県支部・高橋貞夫・相澤正樹」を開催。いけばな芸術協会に参加。

平成26年 京都いけばなインターナショナルに参加。

現職:財団法人「日本花の会」理事、私立「山野美容芸術短期大学」客員教授、私立「恵泉女学園大学」非常勤講師、財団法人「日本盲導犬協会」顧問

著書:『花』安達流の花芸(講談社刊/平成17年)、『安達瞳子一作品と生涯』(社団法人花芸安達会刊/平成20年)

開催にあたって



花芸安達流熊本県支部  
支部長  
内山 瀧み瞳



本日は、花芸安達流熊本県支部発足40周年記念展「花手前～もえる秋 熊本」をご披露させて頂き、誠に光栄でございます。

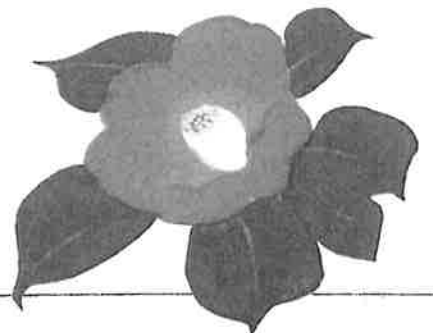
花手前とは、花と生け手と音楽とお客様の四者が一体となって美の熟していく時間を共有する安達流独自の試みです。今回は、二代 瞳子先生を迎え、熊本の皆様にご紹介させて頂き、今年は初代亡後10年の節目にも当たり本日の催しとなりました。ゲストの二宮晶代先生、藤原道山先生には会員一同身に余る映を心より感謝申し上げます。

40周年とは言え、牛の歩みのごとくの支部ではございましたが熊本の文化協会他、流内外の諸先輩の皆様に育んで頂き、今日に至っております。

今後共、二代主宰 安達瞳子先生のもとで研鑽を積み重ねて参る所存でございます。

予期せぬ出来事で4月14・15日の大震災を経験し、会員一同尚一層の協力のもと今日の日を迎えることが出来ました。安達流をはじめ多くの皆様からの様々なご支援を仰ぎ心から感謝申し上げますと共に、花と一体になり熊本復興支援につなげたいと思います。

本日は誠に有難うございました。



# ゲスト出演



二宮 晶代

## 《プロフィール》

宮城喜代子、宮城数江、小橋幹子、内田克子に師事。  
 東京藝術大学音楽学部邦楽別科卒業、NHK邦楽オーディション合格。  
 昭和51・54・56年 熊本琴アンサンブルとしてヨーロッパ公演。  
 昭和58年 熊本県文化使節として中国(桂林他)公演。  
 昭和61年 第1回「二宮晶代箏こんさーと」開催(以後隔年開催)。  
 平成4年 熊本アートウィーク・イン・モンタナに参加、アメリカ公演。  
 平成10年 ポーランド(ワルシャワ他)にて岩本由和氏(尺八)とジョイントコンサート。  
 平成24年 第14回「二宮晶代箏こんさーと」開催。  
 生田流宮城社大師範、宮城会熊本部会長。熊本箏演奏者協会代表。平成音楽大学講師。二宮晶代お箏教室主宰。幹の会、箏の会、熊本箏演奏者協会、熊本県文化協会・文化懇話会会員



藤原 道山

## 《プロフィール》

人間国宝・山本邦山に師事。  
 東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修了。在学中、安宅賞を受ける。江戸川区文化功績賞、松尾芸能賞新人賞を受賞。CD・DVD多数リリース。古典と共に尺八の可能性を求め様々な音楽を追求。[KOBUDO-古武道]「藤原道山×SINSKE」など多方面にわたっても活動中。現在、都山流尺八楽会大師範。都山流邦山会、日本三曲協会、江戸川邦楽邦舞の会会員。山本邦山尺八合奏団団員。胡弓の会「韻」、「曠の会」同人。ホリプロ所属。東京藝術大学非常勤講師。

## 花手前《式次第》

### 開演：花手前 1:00～

#### 《演奏》

琴：二宮 晶代先生 尺八：藤原 道山先生

#### 《生け手》

二代 安達 瞳子、内山 糸み瞳、金子 貴恵瞳、宮崎 和瞳、二宮 まみ瞳、野田 未瞳

### ごあいさつ

- 花芸安達流熊本県支部長 内山 糸み瞳
- 花芸安達流二代主宰 安達 瞳子

### 祝辞

- 熊本県文化協会副会長 村上 輝和様
- 熊本県華道協会理事長、熊本いけばな芸術協会会長 真生流 池本 翠郊様
- 花芸安達流茨城県支部長 松原 勢瞳

### 茶話会 花芸安達流秋川県支部長 京屋 幸純

#### 《お祝いの言葉》

- 熊本県文化協会相談役 小川 芳宏様
- 衆議院議員 松野 頼久様
- 前熊本市長 幸山 政史様
- 山鹿市議会議員 服部 香代様
- ゲスト 藤原 道山先生
- ゲスト 二宮 晶代先生

### 閉会 3:30終了予定

#### 《閉会の辞》

- 花芸安達流熊本県支部 宮崎 和瞳

## 花芸安達流熊本県支部の歩み

- 昭和51年 10月 熊本県支部発足花芸展(祝賀花展) 於：熊本ホテルキャッスル
- 昭和52年 熊本県文化協会入会
- 昭和52年 4月 熊日主催熊日創刊35周年記念いけばな展へ出展 於：熊本岩田屋
- 昭和54年 4月 野生植物研修会天草へ初参加(熊本県華道協会)
- 昭和61年 春 熊本県支部10周年展 初代 安達瞳子祝賀講演 於：熊本ホテルキャッスル
- 平成元年 4月 「岩代音楽館」ステージ及びロビーの花構成 於：熊本市産業文化会館
- 平成3年 9月 「ジェーンズとハーン記念祭」オープニングセレモニー(花手前・麗しの二人菊香る) 於：熊本市男女共同参画センターはあもにい
- 平成6年 9月 「国際神経放射線学会」オープニングセレモニー(花手前・雅) 於：熊本県立劇場
- 平成8年 11月 「熊本国際建築展くまもとアートポリス'96」会場花構成 於：熊本県立劇場
- 平成12年 6月 「現代音楽と華道との融合」電子オルガンのための〈華〉 出田敬三作曲(花手前) 於：熊本市産業文化会館
- 平成13年 4月 「熊本の女性史」出版記念会場祝賀の花構成 於：熊本ホテルキャッスル
- 平成20年 4月 「熊本混声合唱団定期演奏会」ステージの花構成 於：熊本市男女共同参画センターはあもにい
- 平成24年 4月 「熊本混声合唱団50回記念演奏会」ステージ祝賀の花構成 於：熊本県立劇場

熊本市現代美術館主催「熊本の華人展」初回出展(平成16年)以来、「他県合同いけばな展」「熊本県華道協会50周年花展」「熊本県華道協会60周年花展」へ出展。和の文化講座(幼稚園児指導)、るびなす(多機能型施設)いけばな展続行、現在に至る。

## 花芸安達流熊本県支部会員

内山 糸み瞳、金子 貴恵瞳、宮崎 和瞳、二宮 まみ瞳、重松 智瞳、野田 未瞳  
 森松 慶瞳、本田 都瞳、岩崎 澄瞳、吉永 淳瞳、富田 枝瞳、清田 峯子  
 柴田 玲子、近藤 豊子、小野 朝美、亀井 洋子、松本 恵子、浜田ともし  
 加治屋 絹子、清田 順子、中尾理恵子、金子 奈央



## 7 事業収支決算書

(花芸安流熊本県支部)

(収入の部)

(単位:円)

費目	金額(円)	積算の基礎
補助金	100,000	熊本放送文化振興財団
会費	700,000	花午前参加者8名分粗金
その他	210,000	広告代
(寄付金)	150,000	お祝儀
(入場料)	945,000	180名×5000 15名×3000(コヒケ料付)
(出品・出演料)	0	
(雑収入)	0	
前期繰越金		
収入合計	2,105,000	

(支出の部)

(単位:円)

区分	費目	金額(円)	積算の基礎
	賃金	566,789	花芸安流熊本支部
	諸謝金	470,000	ゲスト二名分
	旅費		
	需用費		
	(消耗品費)	150,760	生け花花材 青竹
	(印刷製本費)	147,000	チラシ、パンフレット、封筒
	(光熱水費)		
	役務費		
	(通信運搬費)	40,000	当日送迎バス(ホテルらっき)
	(広告・看板代)		
	使用料・借料		
	(会場使用料)	391,000	ホテルらっき(コヒケキ可食料)
	(その他借上料)		
小計	1,765,549		
その他の経費	賃金	90,000	写真、ビデオ撮影
	諸謝金	73,000	二返礼品代一部
	旅費	38,610	花午前出演者支部会員
	需用費		
	(食糧費)		
	委託料		
	公課料		
負担金			
小計	201,610		
合計	1,967,159		